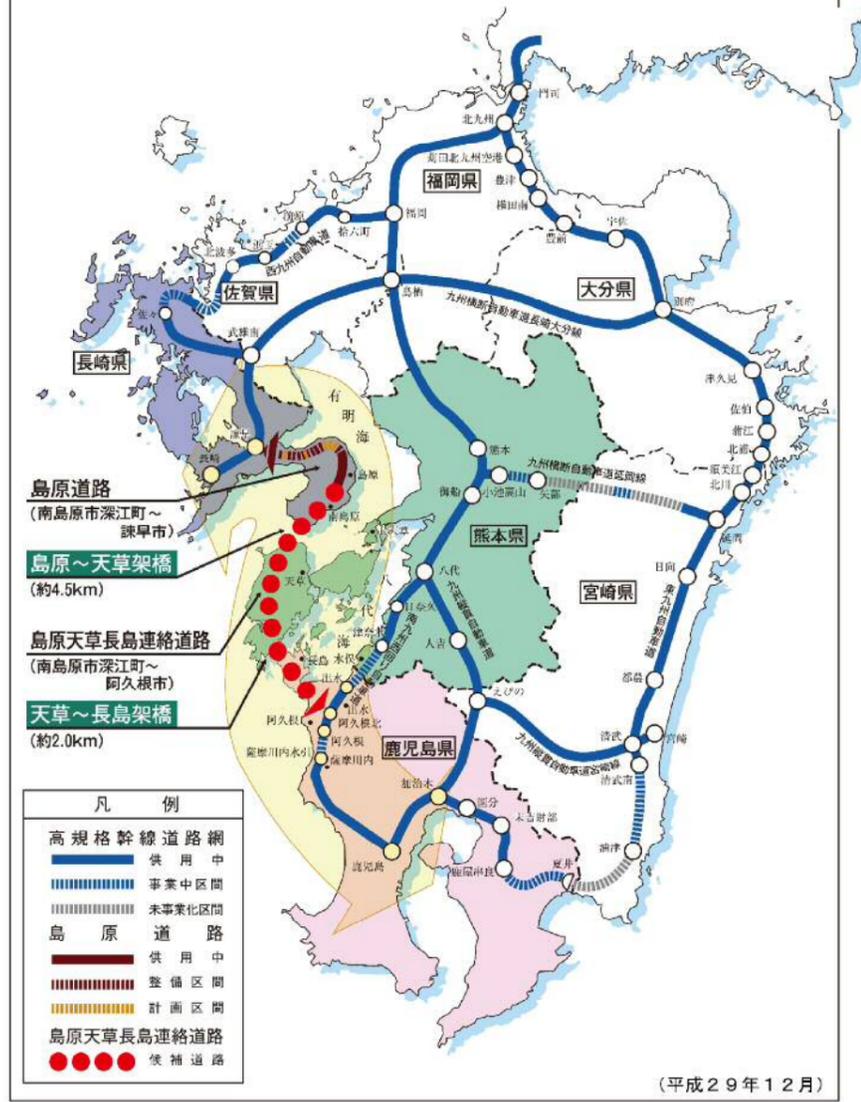


島原・天草・長島架橋構想、九州西岸軸構想



※主な高規格道路を記載しています。

平成29年度 島原・天草・長島架橋構想及び 九州西岸軸構想推進地方大会



～メモ～

日時：平成29年12月16日(土) 13:15～

場所：高尾野農村環境改善センター

(鹿児島県出水市高尾野町大久保149番地1)

<島原・天草・長島架橋建設促進協議会事務局>

(平成28～29年度) 鹿児島県交通政策課	鹿児島市鴨池新町10-1	TEL099-286-2111(代表)
(平成30～31年度) 熊本県交通政策課	熊本市中央区水前寺6-18-1	TEL096-383-1111(代表)
(平成32～33年度) 長崎県地域づくり推進課	長崎市江戸町2-13	TEL095-824-1111(代表)

島原・天草・長島架橋建設促進協議会
一般社団法人九州経済連合会

会次第

- 1 開会
- 2 絵画コンテスト表彰式
- 3 主催者あいさつ
 - (1) 島原・天草・長島架橋建設促進協議会会長
 - (2) 一般社団法人九州経済連合会会長
- 4 来賓あいさつ
- 5 来賓紹介・祝電披露
- 6 三県架橋PR動画披露
- 7 講演
講師：国立大学法人九州大学大学院工学研究院 教授 塚原健一 氏
演題：「三県架橋 一極集中を脱し、地域連携による発展の可能性」
- 8 地元代表者による意見発表（島原市長，牛深商工会議所会頭）
- 9 大会決議（長島町長）
- 10 閉会

【講師紹介】

国立大学法人九州大学大学院工学研究院
教授 塚原 健一（つかはら けんいち）氏

【専門分野】

防災計画，地域計画，国際協力

【経歴】

1985年 九州大学工学部土木工学科卒業、同年建設省入省
1993年 米国ペンシルバニア大学地域科学科博士課程修了（海外長期研修）
1998年 アジア開発銀行政策局政策計画官
2001年 国土交通省九州地方整備局川辺川ダム工事事務所長
2008年 独立行政法人国際協力機構シニアアドバイザー
2011年より現職

【主な委員】

日本学術会議連携会員，同統合防災研究分科会委員幹事，国土と環境分科会委員 等



大会決議（案）

島原・天草・長島架橋構想は、九州縦貫自動車道、九州横断自動車道、南九州西回り自動車道、東九州自動車道、西九州自動車道などの九州を大きく一周する高速交通体系と併せて、いわゆる「丸に十の字」型の交通ネットワークを形づくるものである。

同架橋構想は、有明海・八代海沿岸地域を環状に結ぶ広域交通網を整備することにより、九州新幹線、空港、港湾などと一体となって、中国、韓国をはじめとする東アジアをにらんだ国際的な交流基盤を形成するほか、大規模災害時における緊急避難路や復旧・復興支援物資などを輸送する「命の道」としての機能を有するなど、災害に強い多軸型国土の形成や九州の一体的な浮揚を図るために必要不可欠なプロジェクトである。

特に、平成28年熊本地震により、九州縦貫自動車道をはじめとする、九州内の交通ネットワークが寸断されたことを受け、リダンダンシー（多重性）の役割を果たす新たな縦軸としての本架橋構想の重要性が再認識されたところである。

一方、九州西岸軸構想は、長崎県、熊本県、鹿児島県にまたがる九州西岸地域を、島原・天草・長島架橋を中核とした地域高規格道路で結ぶことにより、県境を越えた相互交流、連携を可能にし、産業・経済・文化・観光等のつながりを持つ新しい経済文化圏を形成しながら、地域の一体的な活性化を図る構想である。

また、特に人口減少が加速する中で、地元市町村等では、交流人口拡大による地方創生に向けた様々な取組が進められ、この架橋構想の実現は、その効果を大きく発揮させる基盤となり得るものと考えている。

については、島原・天草・長島架橋構想と九州西岸軸構想を推進するため、次の事項を関係機関へ強く提言する。

記

- 1 島原・天草架橋及び天草・長島架橋建設に資する調査の再開
- 2 島原道路の整備促進及び島原天草長島連絡道路の具体化に向けた検討の実施
- 3 必要な道路整備のための予算確保

以上決議する。

平成29年12月16日

島原・天草・長島架橋建設促進協議会
一般社団法人九州経済連合会
三県架橋議員連盟